

政策シート

政策名
06 観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化

予算費目名
01 観光・シティプロモーション振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策

01 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

観光が地域の持続的発展を支える主要産業に位置付けられ、多様な主体による観光地域づくりにより市民が愛着や誇りを持てる都市を実現するため、国内外からの観光誘客を戦略的に推進し、その推進基盤を確立する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	⑫生産・消費	⑭海洋資源							
--------	--------	-------	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	779,848	663,404	958,806	1,765,511	1,759,286	820,749
決算	729,876	593,036	771,428	1,551,834	1,957,763	715,697
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	107,800	100,800	113,400	147,350	160,300	86,100
年間経費(決算+A+B)	837,676	693,836	884,828	1,699,184	2,118,063	801,797

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
観光交流客数	千人	目標	23,700	20,400	20,800	21,200	21,600	22,000
		実績	19,441	9,940	11,890	14,452	17,493	2025.10頃確定
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

観光・コンベンションの推進による地域経済の活性化に向け、産業や自然環境、食などの地域資源を活かし、観光客誘致事業、浜松・浜名湖DMO形成支援事業、海外戦略推進事業、MICE推進事業、観光宣伝事業を行い、誘客を図った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>

計画通り

「海の湖観光戦略2024－2028」に基づき、DMO(観光地域づくり法人)である公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューローと連携し、地域観光資源活用推進事業や観光宣伝事業などを展開した結果、本市への観光誘客を図ることが出来た。また、「浜名湖花博2024」の来場者が目標を超える100万人以上あり、この来場者を効果的に市内施設へ周遊させたことで経済効果が81億円に達した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	観光施設運営事業	—	—		234,129	241,909	0.9			0.2	
2	観光客誘致事業	○	○		147,356	180,490	2.0				
3	浜松・浜名湖DMO機能強化等支援事業	○	○		105,288	99,836	1.5			0.3	
4	海外戦略推進事業	○	○		180,810	188,099	3.1				
5	MICE推進事業	○	○		20,123	24,538	0.1				
6	観光宣伝事業	○	○		82,484	73,363	1.5			0.2	
7	観光施設整備基金積立金	—	—		1,259	559	0.1				
8	観光・シティプロモーションデジタル運営経費	—	—		8,486	8,046	0.1				
9	観光・シティプロモーション運営経費	—	—		21,862	3,909	2.6			0.3	
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					801,797	820,749	11.9			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 観光施設運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

観光客に対する利便性等を高めるため、市が所管する観光施設等を運営・管理する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	-	一般会計	自治事務(その他)	-

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用		
	⑫生産・消費		⑭海洋資源						
事業とゴールの 関連性	観光施設等の運営を通じて、観光客の利便性や満足度を高め、観光交流客数の拡大を推進することは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	341,169	307,555	292,662	213,122	220,845	241,909
	決算	311,833	288,570	264,877	213,166	195,311	227,269
	国・県支出	8,679	71,741	8,038	13,395	10,072	7,196
	市債						6,700
	その他	162,836	32,872	63,287	77,323	76,107	80,697
	一般財源	140,318	183,957	193,552	122,448	109,132	132,676
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		5,600	6,300	5,460	5,460	4,760	6,860
人工	正規	0.8	0.9	0.7	0.7	0.6	0.9
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2	0.2	0.2	0.2
年間経費(決算+A+B)		317,433	294,870	270,337	218,626	200,071	234,129

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
観光交流客数(千人)		目標	23700	20400	20800	21200	21600	22000
		実績	19441	9,940	11,890	14,452	17,493	2025年10月頃
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	01	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

(1)観光施設等の維持修繕及び管理運営
①館山寺地区(ターミナル、サンビーチ、トイレ等)、②東海自然歩道(歩道、休憩舎、トイレ等)、③観光バス公共駐車場、④舞阪駐車場(弁天島海浜公園、渚園、舞阪表浜)、⑤渚園、⑥弁天島海浜公園、⑦気賀関所、⑧浜松まつり会館、⑨犀ヶ崖資料館、⑩相津マリーナ、⑪国民宿舎奥浜名湖、⑫あらたまの湯、⑬KAReN HAMANAKO かんざんじ荘、⑭その他施設(観光トイレ、東屋等)。
(2)弁天島海浜公園再整備事業
・弁天島海浜公園再整備事業(土地貸付による民営化)に関し、優先交渉権者との議論再開する中で、地元に対する説明会を2回開催するとともに、浜名湖弁天島地域活性化協議会等との協議を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

計画通り

・新型コロナウイルス感染症の終息により、観光交流客数は回復基調にある。
インバウンド旅行客の増加や団体旅行から個人旅行へのシフトなど、コロナ禍を経て変容している新たな観光需要に対応していく。
(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
・新型コロナウイルス感染症の終息によるインバウンドも含めた観光需要の回復。
・人件費や物価高騰に伴う施設管理コストの増加。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

改善

小項目

委託・指定管理

/

事業費

現状

人工

現状

・指定管理施設の管理方法の検討(公共バス駐車場の無人化の検討等)。
・弁天島海浜公園再整備事業の実現に向けた地元調整を実施した。
(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

改善

小項目

委託・指定管理

/

事業費

現状

人工

現状

・指定管理施設の管理方法の検討。
・かんざんじ荘の貸付と水道設備の更新の調整。
・弁天島海浜公園再整備事業について、優先交渉権者との調整を行う。

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	02	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

事業シート

(事業名) 02 観光客誘致事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

観光交流人口の拡大に向け、観光誘客イベントを開催するほか、「家康公ゆかりの地 浜松」のブランド形成に向けた事業等を実施する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	-	一般会計	自治事務(その他)	-

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-2(2)イ	I-1(1)ウ				

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用	
	⑫生産・消費		⑭海洋資源					
事業とゴールの 関連性	各事業を通じて、観光交流客数の拡大を推進することは、「雇用創出、地方の文化振興・ 産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」に つながる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	186,639	93,864	139,813	1,144,355	1,123,342	180,490
	決算	180,789	76,286	132,921	862,468	1,462,931	133,356
	国・県支出	10,400	6,973	2,238	105,335	418,976	8,229
	市債						
	その他	36,000				279,730	
	一般財源	134,389	69,313	130,683	757,133	764,225	125,127
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,200	19,600	39,060	67,060	73,360	14,000
人工	正規	2.6	2.8	5.5	9.5	10.4	2.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2	0.2	0.2	
年間経費(決算+A+B)		198,989	95,886	171,981	929,528	1,536,291	147,356

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
観光交流客数(千人)	Ⅲ-2(2) イ	目標	23,700	20,400	20,800	21,200	21,600	22,000
		実績	19,441	9,940	11,890	14,452	17,493	2025年10月ごろ
滞在プログラム数(件)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	92	96	99	101	101	108
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	02	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

(1) 浜松まつり事業
新型コロナウイルス感染症対策としての制限を行わず、通常どおりの浜松まつりを開催した。

(2) 出世の街浜松家康公祭り事業
「家康公ゆかりの地」のPRに向け、「出世の街 浜松 家康公祭り2024」を実施した。家康の次男・秀康をテーマにした歴史講演会や街歩き、ステージイベント、市内のゆかりの地周遊スタンプラリーなどを実施した。

(3) 浜名湖キューバヘミングウェイカップ事業
静岡県、浜松市、湖西市等で構成する実行委員会で浜名湖キューバヘミングウェイカップを開催した。

(4) デジタル国内誘客推進事業
オンライントラベルエージェント(OTA)によるプロモーションやWEB広告等、デジタルを活用した誘客施策を展開した。

(5) 宿泊業経営力基盤強化支援事業
市内宿泊事業者の生産性向上と雇用の安定を図るため、ITによる業務効率化や社員寮等の整備を行う事業者へ支援を行った。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題
指標の達成度
・新型コロナウイルス感染症の終息により、観光交流客数は回復基調にある。
・インバウンド旅行客の増加や団体旅行から個人旅行へのシフトなど、コロナ禍を経て変容している新たな観光需要に対応していく。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
・新型コロナウイルス感染症の終息によるインバウンドも含めた観光需要の回復。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工
・浜名湖観光圏プラットフォームとしての事業とDMOである浜松・浜名湖ツーリズムビューローの本来事業との重複が課題となっていたことから、次期観光圏の認定を見送り、令和6年度からDMO機能強化等支援事業に一元化した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工
観光客誘致と旅行消費額の増加に向け、継続的に誘客イベントを実施する。

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	03	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

事業シート

(事業名) 03 浜松・浜名湖DMO機能強化等支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

地域が観光で稼ぐ力を強化するため、本市と湖西市を圏域とする地域連携DMOの機能強化を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2017	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	○	(施策)	I-1(1)ウ	Ⅲ-2(2)イ				

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用	
	⑫生産・消費		⑭海洋資源					
事業とゴールの 関連性	浜松・浜名湖DMOの形成を支援し、観光交流客数の拡大につなげることは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	61,020	29,700	31,440	29,700	29,700	99,836
	決算	59,999	27,252	21,565	27,057	25,091	93,948
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	59,999	27,252	21,565	27,057	25,091	93,948
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,900	4,900	5,880	4,830	7,980	11,340
人工	正規	0.7	0.7	0.8	0.7	1.1	1.5
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1	0.1	0.1	0.3
年間経費(決算+A+B)		64,899	32,152	27,445	31,887	33,071	105,288

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
一人当たり旅行消費額(宿泊)(円)	I-1(1) ウ	目標	32,000	33,000	34,000	35,000	36,000	36,000
		実績	27,400	22,588	27,342	27,719	30,497	36,328
来訪者満足度(%)		目標	90	90	90	90	90	90
		実績	86	89	87	86	85	95
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	03	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

①DMOの機能強化
 専門人材によるDMOのマネジメント体制の強化、マーケティングデータの収集・分析と関係事業者への情報共有、SNSによる広報宣伝等、DMOの機能強化に努めた。

②国内誘客事業
 国内旅行会社等に対するセールスを行うとともに、着地型旅行商品の企画販売やサイクル、ガーデン、ガストロノミーなどのテーマツーリズムの推進により、受け入れ環境の整備を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
 指標の達成度
 ・浜名湖地域内における一人当たり旅行消費額(宿泊)は、前年度比で大幅に増加し、目標を達成した。
 ・来訪者満足度は前年度比でほぼ横ばいとなったが、比較的高い水準を維持した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)
 ・新型コロナウイルス感染症の終息によるインバウンドも含めた観光需要の回復。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 小項目 / 事業費 人エ
 ・浜名湖観光圏プラットフォームとしての事業とDMOの本来事業との重複が課題となっていたことから、次期観光圏の認定を見送り、令和6年度からDMO機能強化等支援事業に一元化した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 小項目 / 事業費 人エ
 ・浜松市及び湖西市をj圏域とする地域連携DMO(観光地域づくり法人)として、マーケティングの分析結果に基づき作成した「海の湖観光戦略2024ー2025」に基づき、観光地域づくりに関する事業を実施していく。

事業シート (事業名) 04 海外戦略推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

外国人旅行者の観光誘客を図るため、本市及び市内観光資源の認知度を向上させ、観光目的地化を推進するとともに、現地旅行博などの機会を活用したセールス活動等を通して旅行商品造成を促進する。また、市内観光関係事業者等と連携した受入環境整備を進めることにより、インバウンドの本格的な回復を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2007	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用		
	⑫生産・消費								
事業とゴールの 関連性	人口減少社会を迎え国内消費が縮小する中、旅行消費の獲得に向けた外国人観光客の誘致は、地域経済の活性化に大きく寄与し、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	46,429	85,079	46,397	75,290	233,074	188,099
	決算	42,511	77,441	30,656	63,445	124,330	159,110
	国・県支出		27,203	7,969	23,429	61,897	63,136
	市債						
	その他						
	一般財源	42,511	50,238	22,687	40,016	62,433	95,974
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		33,600	26,600	16,800	19,600	19,600	21,700
人工	正規	4.8	3.8	2.4	2.8	2.8	3.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		76,111	104,041	47,456	83,045	143,930	180,810

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
外国人延べ宿泊者数(千人/年)	Ⅲ-2(2) イ	目標	360	370	380	390	400	410
		実績	378	5	10	32	111	199
欧米豪からの外国人宿泊客数(千人/年)	Ⅲ-2(2) イ	目標	36	37	38	39	40	41
		実績	31	1	2	11	26	34
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	04	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- (1)インバウンド推進事業
- ・ビジットハママツ推進事業
 - ・デジタルマーケティング推進事業
 - ・DMO機能強化等支援事業負担金
 - ・広域連携団体負担金
 - ・高付加価値旅行者受入環境整備促進事業
 - ・台北市との相互誘客キャンペーン及び台北ランタンフェスティバルへの出展
 - ・外国人送客助成事業 ほか
- (2)グローバル人材活用事業
- ・連絡員の設置(中国・台湾・ベトナム)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

- (1)事業の成果と課題
- 指標の達成度

計画通り
- ・2024年度は、訪日全体としてインバウンドの回復が進むなか、当市では、中国の国内状況等による回復遅れで目標未達となっているが、中国以外の市場は、2019年度以前の水準まで回復している。
 - ・インバウンドの本格的な回復に向け、個人旅行の対策として、本市及び市内観光資源の認知度向上のためにWEB広告やSNSを活用したデジタルプロモーションを行った。
 - ・また、興味・関心層を実際の来訪につなげるため、オンライン旅行予約サイトに特設ページを開設し、検討・予約を簡単に行える仕組みを構築した。
 - ・周辺自治体や観光関連事業者との広域連携や静岡県海外事務所との連携による団体旅行誘致に向けた事業を実施した。
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）
- ・富士山静岡空港、中部国際空港の国際線の復便の遅れ。

6 事業の見直し (Action)

- (1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
- 大項目

改善

 小項目

情報発信

 /

収集・分析

 事業費

拡大

 人 工

現状
- ・訪日旅行の主流である個人旅行者の獲得のため、WEB広告やSNS、オンライン旅行予約サイトを活用した情報発信を行った。また、受入環境整備として、多言語観光WEBサイトの記事の追加による掲載情報の充実を図った。
 - ・市内における観光消費額の拡大を図るため、海外からの高付加価値旅行者の受け皿となる旅行商品の開発支援を行った。
- (2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
- 大項目

改善

 小項目

情報発信

 /

改修・更新

 事業費

拡大

 人 工

現状
- ・周辺自治体や観光関連事業者との広域連携や静岡県海外事務所との連携による団体旅行誘致と、デジタルマーケティングによる個人旅行の獲得に向けた情報発信を実施し、インバウンドの獲得を目指す。
 - ・訪日旅行の多様なニーズやコロナ禍を経た旅行需要の変化などに対応するため台湾・中国・ベトナム・オーストラリアに連絡員を設置し、旅行会社等の連絡や情報収集など現地対応を行う。

事業シート (事業名) 05 MICE推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

国際会議や展示会、企業等の会議や報奨・研修旅行等の誘致を推進し、観光交流客数と観光消費額を増加する。

※MICE／Meeting(会議) IncentiveTravel(報奨・研修旅行) Convention(国際会議) Exhibition/Event(展示会)

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1989	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-2(2)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用	
	⑫生産・消費		⑭海洋資源					
事業とゴールの関連性	MICEの推進を通じて、観光交流客数の拡大を推進することは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	55,816	58,585	56,389	58,295	60,495	24,538
	決算	51,941	46,347	46,651	50,949	61,502	19,423
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	51,941	46,347	46,651	50,949	61,502	19,423
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		52,641	47,047	47,351	51,649	62,202	20,123

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
国際会議等誘致件数(件)		目標	5	5	5	5	5	5
		実績	8	0	0	2	10	16
新規賛助会員数(団体)		目標	35	35	35	35	35	35
		実績	11	6	7	7	7	4
コンベンション支援件数(件)		目標	200	200	200	200	200	200
		実績	301	125	170	190	208	171
コンベンション総消費額(億円)		目標	90	90	92	92	92	70
		実績	89	21	29	62	62	71
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	05	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・観光プラットフォームの構築やコンベンション開催地としての魅力向上に向け、浜松・浜名湖ツーリズムビューローに業務を委託し、各種協議会や、会議体へ参画を通じて地域の観光事業者を始め、観光振興・MICE誘致に係る様々な業種の団体、事業者との連携体制を構築した。
- ・MICE主催団体や大学の学会等の事務局を訪問し、誘致につながる情報発信や収集を行った。
- ・コンベンションの開催支援や主催者への助成を行うため、負担金を浜松・浜名湖ツーリズムビューローへ交付し、浜松コンベンション開催支援事業(助成金制度)を実施した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・国際会議の誘致件数は伸び悩んでいるが、MICEに関する情報提供や国内会議等に対する開催費助成などの支援件数は順調に推移している。
- ・新型コロナウイルス感染症の終息に伴い、会議開催が活発化してきており、本市での会議開催件数の増加とともに総消費額も増加傾向にある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・新型コロナウイルス感染症の終息によるインバウンドも含めた観光需要の回復。
- ・主要なコンベンション施設である、アクトシティ浜松の大規模改修工事(2025～2029年)に伴う誘致件数低減の恐れ。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・主要なコンベンション施設であるアクトシティ浜松の改修予定を踏まえ、郊外等のコンベンション施設を利用する際のバス借上料に対する助成メニューを創設した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・アクトシティ浜松の改修後のコンベンション誘致に向け、WEB広告の実施について検討する。

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	06	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

事業シート

(事業名) 06 観光宣伝事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

観光案内等の情報発信、広域観光振興団体への参画、市内各地域の観光事業の振興、特産品のPRなどを通じて観光誘客を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
不明	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	☐	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	☐	(施策)	Ⅲ-2(2)イ	Ⅲ-2(2)ア				

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用	
	⑫生産・消費		⑭海洋資源					
事業とゴールの 関連性	観光に関する情報発信を強化することで、観光交流客数の拡大につなげることは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	69,879	65,954	383,199	175,750	85,048	73,363
	決算	64,051	57,332	267,260	267,593	83,414	71,424
	国・県支出			155,850	200,000		
	市債						300
	その他	7,000	1,000				
	一般財源	57,051	56,332	111,410	67,593	83,414	71,124
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		25,900	23,800	27,860	32,760	33,460	11,060
人工	正規	3.3	3.0	3.5	4.2	4.3	1.5
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	0.2
年間経費(決算+A+B)		89,951	81,132	295,120	300,353	116,874	82,484

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
観光交流客数(千人)	Ⅲ-2(2) イ	目標	23,700	20,400	20,800	21,200	21,600	22,000
		実績	19,441	9,940	11,890	14,452	17,493	2025年10月ごろ
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	06	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

(1)観光案内推進事業

- ・観光インフォメーションセンター等の運営、観光案内ウェブサイトや観光パンフレットの作成などを通じ、本市の魅力や観光情報を発信し、観光誘客の拡大を図った。
- ・浜名湖花博2024の開催に伴い観光インフォメーションセンターの機能拡充を行った。

(2)観光宣伝支援事業

- ・観光振興を目的とする各種団体に参画し、連携事業の実施、広域観光事業などの情報収集を行った。

(3)観光振興助成事業

- ・市内各地域の観光事業の振興とその円滑な推進を図ることにより、本市の観光誘客力を強化した。

(5)特産品カタログギフト事業

- ・カタログを通じて本市の特産品や商品の知名度を向上し、誘客を促進するとともに特産品の販路を拡大する。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

計画通り

- ・新型コロナウイルス感染症の終息により、観光交流客数は回復基調にある。
- ・インバウンド旅行者の増加や団体旅行から個人旅行へのシフトなど、コロナ禍を経て変容している新たな観光需要に対応していく。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化（新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など）

- ・新型コロナウイルス感染症の終息によるインバウンドも含めた観光需要の回復。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

改善

小項目

業務改善

/

事業費

拡大

人

工

現状

- ・浜松・浜名湖だいすきネットを改修するとともに、体験レポートや動画コンテンツを充実することにより、アクセス数の増加及び誘客の促進に努めた。
- ・浜名湖花博2024の開催に伴い観光インフォメーションセンターの機能拡充を行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目

改善

小項目

情報発信

/

事業費

現状

人

工

現状

- ・観光インフォメーションセンターにてインバウンドを含めた観光案内を継続する。
- ・市内観光協会において、新型コロナウイルス感染症の終息等により事業が活性化しているため、引き続き、支援を行う。

事業シート (事業名) 07 観光施設整備基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市観光施設整備基金に予算で定める額を積み立て、温泉を利用する地域における観光施設の整備費に充当する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1978	-	一般会計	自治事務(その他)	-

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用		
	⑫生産・消費		⑭海洋資源						
事業とゴールの関連性	計画的に基金を積み立て、観光施設の計画的な整備・維持に努めることは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	19	10	6	127	6	559
	決算	19	10	6	127	6	559
	国・県支出						
	市債						
	その他	19	10	6	127	6	559
	一般財源						
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		719	710	706	827	706	1,259

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

温泉を利用する地域の観光施設の整備費に充てるため、浜松市観光施設整備基金に基金の運用利益及び入湯税のうち予算で定める額を積み立てた。

【事業概要】

・当初、入湯税のうち予算で定める額を毎会計年度積み立てていたが、1994年度から入湯税の積み立ては行っていない。現在、金融機関での基金運用により発生する利子を積み立てている。
・温泉を利用する地域の観光施設の整備費に充てるため、浜松市観光施設整備基金に基金の運用利益及び入湯税のうち予算で定める額を積み立て、「浜松市観光施設整備基金に関する条例」第6条(処分)に合致した観光施設整備事業を行う際に予算で定める額を一般会計へ繰り出すもの。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度
・基金運用収入を積み立てた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
・基金運用収入を積み立てた。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
・基金運用収入を積み立てる。

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	08	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

事業シート

(事業名) 08 観光・シティプロモーションデジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

観光・シティプロモーション課におけるデジタル関連事業に必要な経費を執行する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用		
	⑫生産・消費		⑭海洋資源						
事業とゴールの 関連性	観光政策を効率的に進めることは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			874	704	728	8,046
	決算			602	383	393	7,786
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源			602	383	393	7,786
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				700	700	700	700
人工	正規			0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)				1,302	1,083	1,093	8,486

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	08	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

観光・シティプロモーション課の一般事務に要するデジタル関連経費。

- ・観光施設無線LAN設置費(はままつフラワーパーク2か所)
- ・海外業務用Wi-Fiルーターレンタル
- ・海外業務用携帯電話レンタル
- ・海外業務用多言語翻訳機レンタル
- ・FC業務用携帯電話レンタル
- ・商談等業務用タブレット端末レンタル
- ・提供用誘客プロモーション素材作成

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・観光・シティプロモーション課の事務遂行のため適正に諸経費を執行した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・観光振興やシティプロモーションに向けた経費を効果的に執行した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・観光振興やシティプロモーションに向けた経費の効果的な執行を図る。

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	09	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

事業シート

(事業名) 09 観光・シティプロモーション運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

観光・シティプロモーション課における一般事務や観光政策の推進に必要な経費を執行する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
-	-	一般会計	自治事務(その他)	-

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用		
	⑫生産・消費		⑭海洋資源						
事業とゴールの 関連性	観光政策を効率的に進めることは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	18,877	22,657	8,026	68,168	6,048	3,909
	決算	18,733	19,798	6,890	66,646	4,785	2,822
	国・県支出				1,628	400	
	市債						
	その他	144	146	145	155	133	
	一般財源	18,589	19,652	6,745	64,863	4,252	2,822
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,200	18,200	16,240	15,540	19,040	19,040
人工	正規	2.6	2.6	2.2	2.1	2.6	2.6
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.3	0.3	0.3	0.3
年間経費(決算+A+B)		36,933	37,998	23,130	82,186	23,825	21,862

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	06	01	001705000	09	観光・シティプロモーション課	吉田 佐織	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・観光・シティプロモーション課の一般事務に要する経費。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・観光・シティプロモーション課の事務遂行のため適正に諸経費を執行した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・観光振興やシティプロモーションに向けた経費を効果的に執行した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・観光振興やシティプロモーションに向けた経費の効果的な執行を図る。